

迅速施工で想定外にも誠実対応

コルゲートパイプ

播磨自動車道

兵庫県と鳥取県を結ぶ中国横断自動車道姫路鳥取線の一部、「播磨自動車道」は山陽自動車道播磨JCTから分岐し、中国自動車道山崎JCT(仮称)へと至る、全長約24kmの高速道路です。

単に2県間を結ぶというだけでなく、中国地方を東西に走る2本の幹線を連絡することで災害時に補完的なネットワークを形成するなど柔軟な交通を実現するための中継ルートとしての機能が期待されています。

このうち播磨JCTから播磨新宮ICまで12.8kmは既に平成15年に開通しており、現在は播磨新宮ICから山崎JCT(仮称)までの区間が進められています。

このルートのうち谷筋を渡る盛土区間において、沢水を通す本設暗渠にコルゲートパイプが用いられています。コルゲートパイプはその施工



の簡便さ、迅速さが特長で、当現場も、以前ほかの工事でグループ会社の岡三工事が担当した組立ての手際の良さが評価されての採用でした。

ところがコルゲートパイプの工事が始まって間もなく、想定外の大雨で工事用道路に崩落が発生。現場として辛い大事に至らなかったものの、復旧作業のために既に設置が進んだパイプを一旦解体しなければならぬ事態に陥りました。

工事用道路の復旧を待って施工は再開されましたがその後も天候が雨続き。工期が危ぶまれましたが、岡三工事の頑張りもあり、現場の希望する期日までに無事、施工を完了す

ることができました。

岡三リビックは1971年にコルゲートパイプを取扱う会社として創業して以来事業を順次拡大し、およそ半世紀を経た現在もコルゲートパイプ・ライナープレート等の仮設鉄鋼建材市場において大きな存在感を放っています。



工事概要

施主：西日本高速道路株式会社
 福崎高速道路事務所
 工事名：中国横断自動車道角亀工事
 施工：株式会社 熊谷組
 商品：コルゲートパイプ2型
 (B仕様) φ2000
 L=92.806m、113.228m

お国自慢

年間三百日開催！神子田朝市

盛岡営業所 三浦 典子

朝市に出かけたことはありませんか？私の住む岩手県盛岡市には、全国でも珍しい年間三百日以上開催されている神子田朝市があります。盛岡城跡公園から南東に2kmほどの神子田地区で行われ、早朝五時〜八時半まで。野菜、果物、生花、野菜の苗、鮮魚、精肉、総菜、お茶、スイーツから靴まで百四十もの生産者や業者が一堂に会します。市民の台所としてだけでなく観光客にも人気のあるとても活気がある場所です。

私のお気に入りは、珈琲店のホットコーヒー。早朝のキリリとした空気と、店主が朝市用にブレンドした豆で淹れた味わいが、空腹にも優しく眠気を覚ましてくれます。

また盛岡といえばだんご。中に黒糖ダレが入った郷土菓子の「きりせんしょ」を売っているだんご屋さんで数種選べ我が家の朝食にします。イトインできるラーメンや「ひつつみ(すいとん)」は朝食にぴったりな優しい味で、これらを求めに来る方も多いようです。

新鮮な地場産品を前に生産者と会話できるのもこの市場ならではの魅力。季節によってはスズムシ、カブトムシなども販売されていて子どもにとっても楽しい場所になっています。

早起きは少し大変ですが、三文の徳になること間違いなし。盛岡にお越しの際はぜひ足を運んでみてください。早めに行くのがおすすめです。

岡三リビック商品群

道路・盛土 多数アンカー式補強土壁工法 トリグリッドEX バラリンク フラットパネル RRR工法 EDO-EPS工法
 ダイブラハウエル管 法面・防災 多機能フィルター ミニアンカーDO PDR工法 サビレス100
 維持・管理 ARISライナー工法 SWライナー工法 RCGインナーシールα工法 Tn-p工法 ローマットHDB
 鉄鋼建材 ライナープレート コルゲートパイプ 景観・環境 ロッキーステージ 斜面いりどり工法 フォトリックアート

岡三リビックの管更生工法

国内の農業用水路は約40万km、下水道管きよの総延長は47万kmといわれ、なかでも布設から50年を経過し、老朽化したストックが増えています。少しでも早く更新すべき時期にきていますが、既設管を入れ替える布設替え工事は工期も費用も非常にかかります。それに代わる対策として活用目覚ましいのが、既設管の内側に新たな管を形成することで新管同等以上になる「管更生工法」です。

岡三リビックでは「ARISライナー工法」及び「SWライナー工法」を、用途に応じてお勧めしています。

管路更生工法 反転・形成工法（熱硬化型）

下水道用管きよ更生工法 - 製管工法

ARISライナー工法

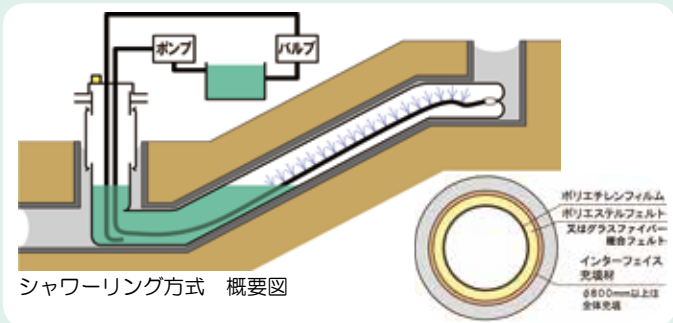
SWライナー工法

ARIC 登録番号 No.0292
(公財) 日本下水道新技術機構 建設技術審査証明第1645号

(NETIS 登録番号 KT-150034-A
公財) 日本下水道新技術機構 建設技術審査証明第1829号

既設管路内にCIPP(現場硬化管)を形成、内圧管を更生します。ポリエステルフェルトに加えグラスファイバーで補強したライニング材を管きよ内へと挿入した後、これに予め含浸した熱硬化樹脂を温水と温水シャワーリングによって加熱・硬化させ、継ぎ目のない更生管を形成します。管径100~1,800mm、最大延長は500mまで可能です。

帯状の硬質塩化ビニル部材(ストリップ)を管路内で螺旋状に製管しながら更生管を形成します。工場で製造されたストリップ材を専用機具で管きよ内に送り込むだけの簡単な工法であるため、迅速かつ容易に、安定した品質の管更生工事を進めることができます。円形断面の埋設管、管径800~1,800mmに対応しています。



温水シャワーリング方式は従来の熱硬化工法に比べ硬化の際に使用する水量が少なく済み、エネルギー消費を抑えつつ均一に硬化させることが可能です。

ARISライナーはその板厚を抑えて既設管との直径差を極力なくしながらシームレスで流水抵抗の小さい管きよとして蘇えらせることができます。

ストリップ材はオス・メスでのかん合構造を採用し、製管時にかん合部に接着剤を塗布しながらスパイラル状に接合していくため、水密性の高い更生管が生成されていきます。屈曲部でもかん合部の外れがなく、耐震性試験でレベル2の地震動相当をクリア、また既設管との隙間は充填材が注入されるため、既設管と一体となった強固な管きよを形成します。

ストリップかん合用の機具以外に特殊な機器は不要なため、地上部で工事に必要な面積も最小限です。

この外ナンバー車、注意すべきは管轄が国土交通省ではなく外務省となる「動く治外法権」であるという点。違反金の踏み倒しが年間三千件もあり、特に数列の前半が79と91の某二大国だけで踏み倒し全体の半分を占める傍若無人ぶりとの話もある。見かけたらとにかく近寄らないのが吉だ。

アメリカのトランプ大統領が来日した際には専用リムジン二台にも外ナンバーが交付されたが、二台×二枚のプレートに分けて合せてそれぞれの前と後ろが同じナンバーになるように見た目を揃えるテロ対策をしていた。ナンバープレートの主目的にはあり得ない処置だが、これも道交法の及ばぬ外交特権ならではだろう。

「外」のクルマ

徒然月記

記：編集T

車道を走らせると時々、青地に「外」と書いたナンバープレートの、各国駐日大使館が使う車に出くわす。

そのプレートに記された数列の前半は01のアフガニスタンから155のトーゴまで国を表し、後半は大使館ごとで01~99を順に振る。外の字が0で困まれ末尾が01のものは大使専用車で、イギリスは紳士の乗り物ジャガー、イタリアは伊達男っぽいマセラティなど先進国なら自国の高級ブランドを走らす。

外-1201